令和８年度中学生チャレンジテスト（３年生）の結果概要

大阪府教育庁

○内容
中学校第３学年：国語、社会、数学、理科（選択問題A･B）、英語
生徒アンケート

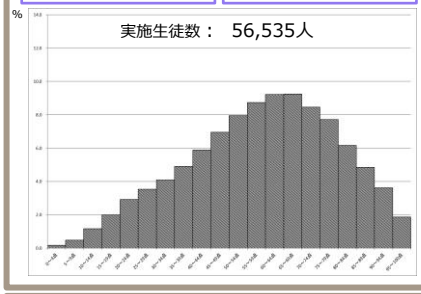
○対象
府内市町村立中学校、義務教育学校後期課程及び支援学校中学部
並びに府立中学校及び支援学校中学部の生徒

○実施校数(９月２日実施分)
471校

○実施生徒数(９月２日実施分)
57,059人

中学校３年【国語】

平均点	無解答率
58.5点	7.6%



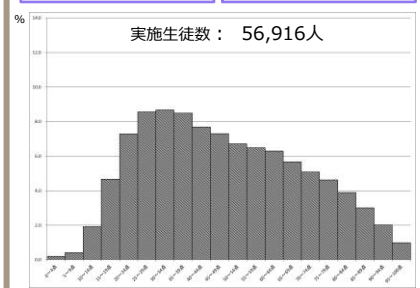
良好
□文章全体と部分との関係を考え、内容の理解に役立てること。
□必要に応じて確かめたいことを質問すること。

課題
■複数の資料を比較したり、関係付けたりして読み取り、自分の考えの根拠を見出すこと。
■場面の展開や登場人物の描写に注意して読み、内容の理解に役立てること。

【これからの学習に向けたアドバイス】
★複数の資料から読み取れる情報を書き出し、自分の考えを表現するために必要な根拠を見つけ、まとめてみましょう。
★古典を読む際には、現代語訳や語注などを手掛かりに、作品に描かれている場面の様子や登場人物の心情などを想像しながら読み、昔の人のものの見方や考え方を知りましょう。

中学校３年【社会】

平均点	無解答率
48.3点	4.7%



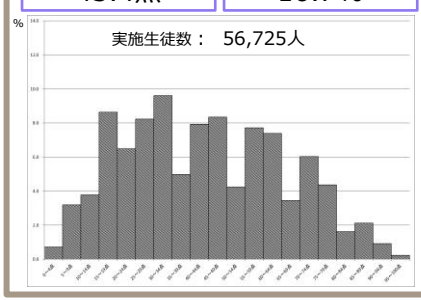
良好
□地形図から読み取った情報をもとに考察すること。
□東大寺の場所などの地理や歴史に関わる事象に関する基礎的・基本的なことがらを理解すること。

課題
■地理に関わる事象について、資料から目的に応じた情報を読み取ること。また、既習事項と関連付け、考察すること。
■歴史に関わる事象について、推移や相互のつながりに着目して考察すること。

【これからの学習に向けたアドバイス】
★地域の特色や課題について考察する際は、統計資料などから特徴的な部分を見つけ、それをもとに自分の考えをわかりやすく表現してみましょう。
★歴史に関わる事象は、起こった背景や原因、その結果やその後に与えた影響などに着目してみましょう。

中学校３年【数学】

平均点	無解答率
43.4点	16.7%



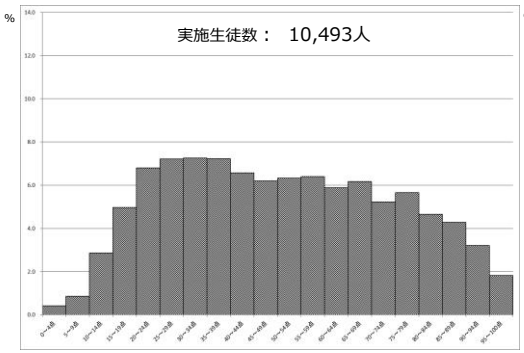
良好
□正の数と負の数の計算や文章を式で表すこと。
□立方体の展開図において、２つの面の位置関係を捉えること。

課題
■複数のデータの特徴を比較し、判断した理由を説明すること。
■事象を数学的に解釈し、グラフから必要な情報を読み取ること。

【これからの学習に向けたアドバイス】
★集団のデータを見るときは、散らばり方に着目し、四分位範囲などを根拠に考えを説明してみましょう。
★身の回りの事象について、数量の関係を表したグラフから必要な情報を読み取り、変化や特徴から分かることを考えてみましょう。

中学校３年【理科A】

平均点	無解答率
50.5点	4.5%

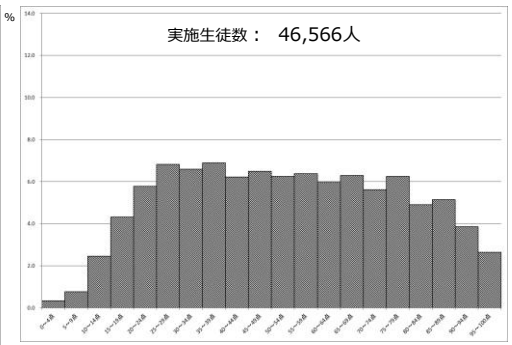


良好
□裸子植物の花のつくりなどの基礎的な知識について理解すること。
□物質の固体、液体、気体の状態を粒子のモデルと関連づけて考えること。

課題
■電流の大きさと合成抵抗の関係や、電磁誘導について考えること。
■地図と柱状図をもとに、地層の傾きについて考えること。

中学校３年【理科B】

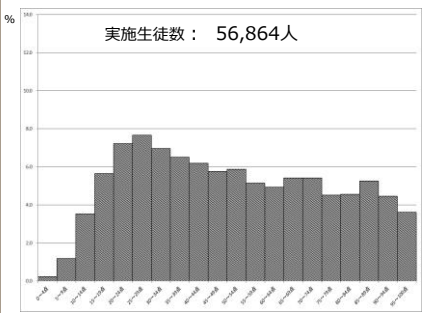
平均点	無解答率
52.8点	4.5%



【これからの学習に向けたアドバイス】
★電流や磁界のはたらきについて考えるときは、まず、電流や磁界の向きに着目して考えてみましょう。
★地層の広がり方や傾きについて考えるときは、地層のでき方と資料から分かることを組み合わせ、共通点や特徴を見つけて考えてみましょう。

中学校３年【英語】

平均点	無解答率
51.1点	7.8%



良好
□日常生活における会話文やまとまったやり取りを聞き、簡単な質問に答えること。
□語や文法事項を理解し、正しい英文になる語句や文を選ぶこと。

課題
■与えられた情報に基づき、指示された語数で正確に英文になる語句を書くこと。
■社会的な話題について、話の概要を捉え、内容の要点を適切に読むこと。

【これからの学習に向けたアドバイス】
★与えられた情報を整理し、学習した語句や文法を活用しながら、自分の考えや気持ちを英文で表現してみましょう。
★社会的な話題について簡単な英語で書かれた英文を読み、必要な情報を整理しながら、書き手が伝えたいことや内容の要点を捉えるようにしてみましょう。

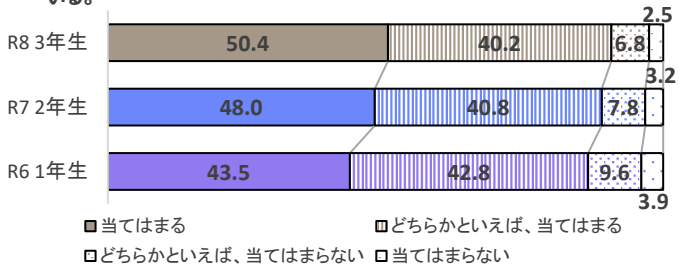
令和８年度中学生チャレンジテスト（３年生）の生徒アンケート結果

※それぞれのグラフに、その他・無回答の数値は示していません。

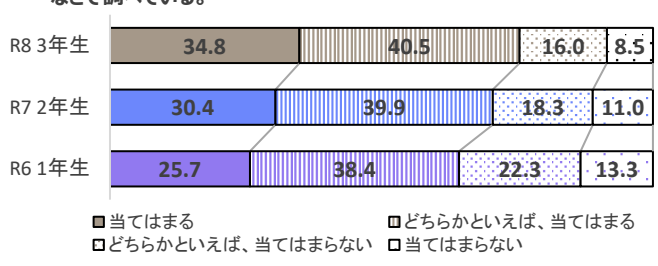
アンケート項目の中から、普段の学習や生活の中でみなさんが取り組んだり意識したりしてほしいことを以下に取り上げました。これらのアンケート項目において、肯定的な回答をしている生徒ほど教科のテストの平均点が高い傾向が見られます。みなさん自身の状況を振り返り、ぜひこれからの学習や生活の参考にしてください。なお、３段に並べたグラフのうち、下段は２年前（１年生時）に実施したアンケートの結果、中段は１年前（２年生時）、上段は今回（３年生時）のアンケート結果のグラフです。２年前からの全体の変化も、自分の結果と比べるときの参考にしてください。

学習するときに意識しよう

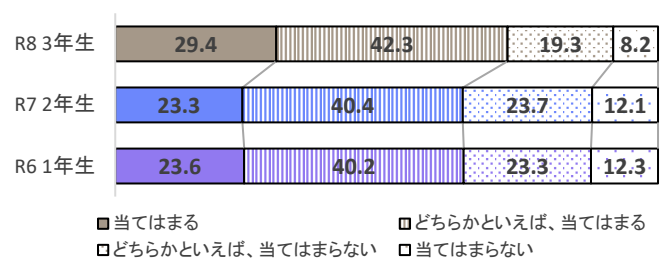
■ 文章や資料などを読むときに、どこが大事なところかを考えながら読んでいる。



■ わからないことや知りたいことがあったとき、図書館資料やインターネットなどで調べている。



■ 家で、自分の苦手なところ、必要なところを考えて勉強している。



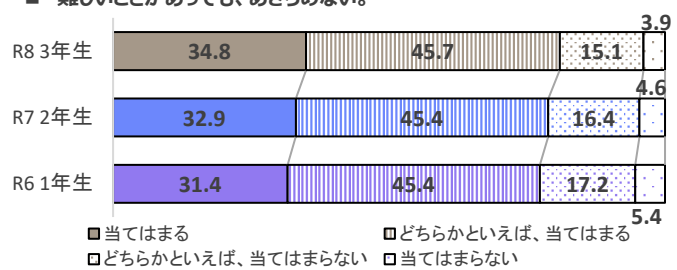
○学習の成果をより確かなものにするためには、自分の学習状況を把握し、学習方法を調整するなど、主体的に学習に取り組むことが大切です。上に挙げた３つの項目は、主体的な学びを支える上で大切な学習習慣です。いずれの項目においても、70%以上の生徒が肯定的に回答し、特に「文章や資料などを読むときに、どこが大事なところかを考えながら読んでいる。」の項目については、90%以上の生徒が肯定的に回答しています。

○全体として学年が上がるほど肯定的な回答が増えており、自分の学習状況を把握し、主体的な学びにつながる学習習慣が定着しつつあることがうかがえます。

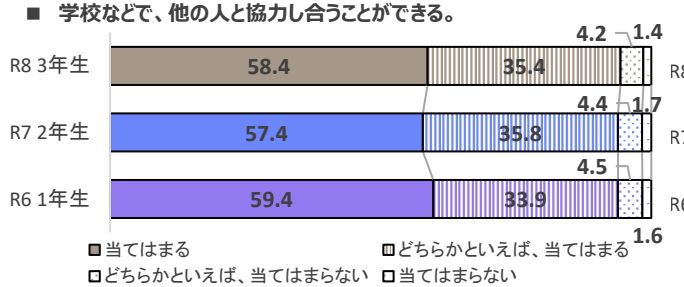
○学習を進める中では、わからないことや苦手なことに出合うことがあります。そのようなときは、これまでの学習してきたことを振り返ったり、自ら調べたり、学習方法を工夫したりしながら取り組むことが大切です。上に挙げた３つの項目を意識し、自分に合った学習方法を見つけながら、主体的に学習を進めていきましょう。

学校や普段の生活で意識しよう

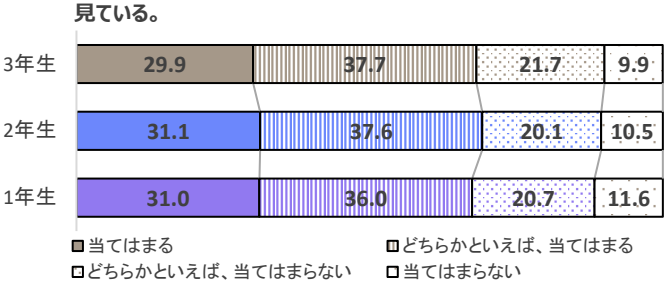
■ 難しいことがあっても、あきらめない。



■ 学校などで、他の人と協力し合うことができる。



■ テレビや新聞、インターネットで社会的な出来事に関するニュースを見ている。



○「難しいことがあっても、あきらめない」「学校などで、他の人と協力し合うことができる」の項目では、多くの生徒が肯定的に回答しています。難しいことに粘り強く取り組む姿勢や、他の人と協力しながら物事を進めることは、学習の場面だけでなく、学校生活や日常生活、将来においても大切です。目標の達成や課題の解決に向けて力を発揮するためにも、このような姿勢を日頃から意識し、実践していきましょう。

○他の人と協力するためには、自分の意見や思いをもち、伝えることと、相手の考えを適切に読み取り、理解することの両方が大切になります。グループ学習などの際、すぐに他の人やAIなどに考えを委ねてしまっていないでしょうか。まずは、自分でじっくり考え、その上で自分の意見や思いを伝えながら、他の人の意見や思いと比較して学びを深めることを意識してみましょう。

○自分の考え方を広げたり、深めたりするためには、グループなどで考えを出し合うことに加え、社会的な出来事に関心をもち、テレビや新聞、インターネットなどを通して、様々な情報や考え方に触れる機会を増やすことも大切です。ニュースなどを見る際は、学校で学んだことや日常生活で経験したことと結び付けながら見ることを意識していきましょう。

・今回お知らせする結果は、学力や学習状況の一部分であり、子どもたちの学力や学習状況、学校の教育活動などのすべてを表すものではありません。
・本テストの結果とともに、「ワークブック」や「力だめしプリント」などの学習に役立つ情報を、大阪府教育庁 市町村教育室 小中学校課のWebページに掲載していますので、ご活用ください。
（大阪府教育庁 市町村教育室 小中学校課のWebページ） https://www.pref.osaka.lg.jp/shochugakko/challenge/r02_3_fukushu.html



© 2014大阪府もずやん